

# しらぬか 議会 だより

NO.170  
2025.10.24

- 2 令和6年度決算審査
- 6 一般質問6人
- 13 令和7年第3回臨時会概要
- 14 令和7年第3回定例会概要

子どもたちの笑顔輝くまちづくり

(第3回白糠学園文化祭)

# 令和6年度 決算 審査

令和6年度の各会計の決算審査は、決算審査特別委員会を設置し、委員長に福地裕行委員、副委員長に川森 静委員を互選して、9月17日から19日の3日間の日程で行いました。

各課から新規事業などの説明を受け、質疑応答により慎重に審査しました。各課の主な質疑をお知らせします。  
(決算の内容は10月24日発行の町広報をご覧ください)

## 各 会 計 決 算 額

会 計		歳入	歳出	差引
一 般 会 計		381 億 3,717 万円	377 億 4,882 万円	3 億 8,835 万円
特 別 会 計	国民健康保険	8 億 9,968 万円	8 億 9,070 万円	898 万円
	介護保険	11 億 5,076 万円	11 億 2,134 万円	2,942 万円
	後期高齢者医療	1 億 5,645 万円	1 億 5,642 万円	3 万円
	計	22 億 689 万円	21 億 6,846 万円	3,843 万円
合 計		403 億 4,406 万円	399 億 1,728 万円	4 億 2,678 万円

## 庶 路 支 所

**問** 庶路支所の解体事業について、執行率が70・5%だが、予算の過大見積ではないか。

**答** 設計依頼する段階で、人件費の高騰や物価高を見込み予算に不足が生じないよう計上したことに加え、入札の結果も、安価であった。

## 企 画 財 政 課

**問** アイヌ映画「シサム」の収支と町内への経済効果はどの程度あったか。  
また、映画を活用する見通しは。

**答** 映画の収支は、途中経過として、9198万5014円のマイナスと報告を受けている。町内の商工業者、飲食店を対象に、事業効果を図るアンケートを実施した結果、撮影時も含め売上は増加したものの、それが映画関係者によるものなのか区別ができない。

本作は貴重な財産であるので、大に残していく、学校での教材としても活用したい。

**問** 町内の空家の状態と、空家等対策計画の概要はどのようなものか。

**答** 町内の空家は、白糠地域387戸、

西庶路地域13戸、庶路地域61戸となっており、そのうち倒壊の危険性があるものは127戸となっている。

計画の概要は、空家などの発生を抑制する取り組み、空家などの除却後の跡地の利活用の促進、空家などの適切な管理、適切に管理されていない空家への対策となっている。

**問** 創生総合戦略のうち、移住交流フェアへ参加した際に相談を受けた17組とは、その後どうなっているか。

**答** この17組は今すぐ移住を考えているわけではなく、道東エリアに興味があった方たちで、その後アクションはない。

## 総 務 課

**問** 情報管理費のうち、委託料と使用料及び賃借料の不用額の内容は。

**答** 令和6年度に予定されていたシステム標準化に関する作業の実施時期が、令和7年度に変更となったため。

## 税 務 課

**問** 主要な施策のうち「町民税等の賦課」で執行率が52・3%である要因は。

**答** 過去の実績を鑑みて予算計上しているが、予算に不足が生じないように

また、執行率が25・9%なのは、周知が不十分だからではないか。

**答** 入院の回数に制限はないが、金額の上限は5万円、入院日数に応じて助成額があり、121日以上入院だと5万円の助成となる。

また、周知については、入院履歴をもとに勧奨を行っており、漏れがないよう申請書を3回送っている。電話連絡やハガキでの通知も行っている。

## 健康 こども 課

**問** 白糠こども園への入園を希望したら、定員なのか保育士不足なのか不明だが、庶路こども園への入園を幹旋されたという話を聞いた。庶路こども園の保育士に余剰があるなら、白糠こども園へ異動させたりできないのか。

**答** 0歳児の受け入れについて、保育士の定員は園によって決まっているため、人事異動は容易ではなく、両園の空き状況を調整し、定員内での受け入れとなる。通常の就労保育については、待機児童を出さないよう、柔軟な対応をしている。

**問** がん検診の結果、がんが見つかった方へのフォローはどのようになっているか。

## 危 機 対 策 課

**問** 主要な施策のうち、ジュニア防災教室で執行率が14・2%である要因は。

**答** これまで大学教授を招いた教室の要望が学校側からあり、対応できるよう予算計上していたが、コロナ禍以降、遠方から講師を招かずにできる教室（避難所開設や運営など）に内容が変化しており、人件費の減が主な要因。

**問** 防災拠点施設整備事業で策定された基本構想の内容は。

**答** どのような施設をどういう方向性で建設するか、例えばどういう設備が必要なのか、建設場所などを検討するための資料収集し、協議を重ねるという形で基本構想の設計図書を策定した。

## 水 道 課

**問** 庶路中央地区の水源調査について、結果と今後の見通しは。

**答** 令和6年の調査では十分な水源が確保できなかったため、ボーリングにより改めて調査することとなった。

調査業務については発注済みであり、これから各戸の掘削調査を進めて行く。

## 町 民 サ ー ビ ス 課

**問** 町内の河川の水質検査を行っているが、結果はどうか。

**答** 7河川の水質検査を行ったが、全て問題ない。

**問** 昨今の人口減少、タクシーやバスの運転手不足が問題となっているが、地域交通維持対策として、十勝管内のように自動運転バスの実証実験などに取り組む考えはないか。

**答** 先進地である十勝管内への情報収集を行い、自動運転の導入に向けた取り組みについて、検討することとしている。

## 介 護 福 祉 課

**問** 福祉灯油について、オール電化アパートの入居者や器具使用者は助成対象にはならないのか。

**答** 申請してもらって、灯油100リットル相当の助成をしている。

**問** アイヌ文化等情報発信事業について、ホームページで動画やコンテンツを展開し、世界に向けて配信しているが、どの程度の反響があるか。

**答** 外国人レポーターが英語翻訳付きで出演している動画を配信していることで、実際に外国人が白糠町を訪れ、「ポコロ」などに来館される人も多くなったと感じている。

**問** 高齢者補聴器購入費助成事業について、執行率が41%だが、周知が行き渡っていないのではないか。

また、助成対象は両耳とすべきであるし、物価高に伴い補聴器も高額になっているので、助成額を見直す考えはないか。

**答** 周知については、年に2度行っており、町広報にも掲載する他、各種団体の活動時や生き生き事業の際にチラシを配布している。

助成対象については、医師の診断が助成基準となるため、医師が両耳と診断した場合には、両耳分の助成ができる。PR方法と助成額の見直しについては、新年度に向けて検討したい。

**問** 高齢者入院費助成事業について、入院回数に制限はあるか。

**答** がんが見つかった方については、がん検診センターと医療機関で受診状況をやり取りし、手術や治療につなげてもらい、白糠町としてもその状況を把握している。

**問** 婚活イベントについて、イベント参加者よりも実行委員会の方が人数が多いと聞く。

やり方について工夫が必要だと思うので、検討してほしい。

**答** 実行委員会については、町内の各青年団体代表や役場職員で構成されており、人数は多いが参加者よりは少ない。

取り組みに対する意見はいただいており、参加者にもアンケートを実施しているの、内容を検討・改善しながら進めて行きたい。

## 建設課

**問** 恋問3丁一号通り整備事業で、踏切が完成したが、空港への看板は草が茂り、避難ルートを示す案内板もないので対応していただきたい。

**答** 大きめの看板設置を計画しており、現在制作中。避難ルートをわかりやすく揭示したいと考えている。

**問** 町道の草刈りについて、刈る時期が遅いと感じる。気候のせいもあるか

もしれないが、丈が非常に高くなってからだった。1回目はいつからで、2回目までの期間はどうなっているか。

**答** 草刈は5月の下旬から始まって9月まで。草刈り機が1台あるが、フル稼働。茶路沢と和天別沢を回るのに、手刈りの分も合わせて1カ月ばかりかっている。

**問** ちよつと暮らして来町された方たちは、町民と交流できているのか。

また、来町者に対して不安に思う町民もいるが、その対応はどうなっているか。

**答** 来町者は、それぞれパークゴルフ場などで白糠町を満喫し、適宜交流は図られていると思う。

また、来町者の情報については、町営住宅の班長と共有している。

## 経済課

**問** 新規就農者等支援事業の執行率が27・4%であったこと、産業振興研修事業について、内容の説明を願う。

**答** 執行率については、限度額を基準として予算計上していたが、要望額を調査して予算計上する方法に変更したので、今後は執行率が上がる。

また、研修事業の内容は、大手企業が釧路市に進出することに伴い、

製材工場や加工施設などの視察を実施した。

**問** エゾシカの駆除について、例年12月には助成されなくなるが、町費だけでも通年で助成するようにできないか。

また、有害駆除の期間を全道、少なくとも釧路管内で統一できないか。

**答** ハンターの皆さまには、日頃より有害捕獲などご協力いただき、大変感謝申し上げます。エゾシカを含めた有害捕獲については、白糠町だけでなく、全道全国的な問題として考えていく必要がある。町長を先頭に国や道に要請もしており、捕獲頭数枠が増えれば良いが、町費だけというのは難しいと考えている。

また、有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および猟友会と協議相談しながら進めさせていただきます。

**問** 漁業後継者等への支援対策の執行率が15・6%であることの要因は。

**答** 実施予定であった事業が行われなかったため。

**問** 小規模事業者支援事業で補助金2件の事業内容は。

**答** 1件目は、電動ラウンジチェアとフット美容器の購入。2件目は、発電機と移動販売の改装となっている。

## 決算審査特別委員会 講評（抜粋）

令和6年度予算は、「第8次白糠町総合計画」と「第2期白糠町創生総合戦略」を基本に、各種施策を展開するため、編成がなされ執行された。令和6年度は、あらゆるモノの価格が高騰を続けた。厚生労働省の調査では9割以上の企業が賃上げを実施したものの、物価高には追いつかず、実質賃金は減少、住民生活にも多大な影響を及ぼしている。

そうした中、着実に実績を伸ばしている「ふるさと納税」により、自主財源の増加が年々続いている。理事者をはじめ、職員、関係事業者などの努力を高く評価するところであるが、集まった浄財の使途についても、寄付者の意を汲み取り、住民ニーズや費用対効果も十分検討し、時宜にかなった事業展開を望むものである。

各担当においては、本特別委員会の審査過程での質疑内容に意を用い、創意工夫を凝らした、町民との協働による事務事業の執行に鋭意取り組まれない。

特に、屋外の津波時指定避難場所や避難路について、整備から年数が経過したことにより課題が生じている

**問** 白糠町は林業が大事。森林整備には路網整備が欠かせないので、財源を繰り入れて、予算要求をしっかりとっていくべき。

**答** これまで同様に、計画的な路網整備に努める。

## 管理課

**問** 地域教育コーディネータについて、執行率が57・6%だが、地域活性化支援員は十分に配置されたのか。

**答** 予算計上時は週5日の勤務を想定していたが、週3日の勤務内容となった。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

**問** 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

**答** 本事業を利用した受験者は、延べ201人で、うち104人がさまざまな資格を取得した。

全国商業高等学校協会の簿記検定、ビジネス文書実務検定など商業系の科目がほとんどだが、漢字検定や英語検定を受験し、合格している生徒もいる。

**問** 活動状況に関する点検評価報告書で、学校部活動の地域移行について、

箇所の早期整備、また、エゾシカやヒグマ対策は、頭数を削減するためあらゆる手法の検討を求める。

併せて、住民福祉の向上に資する各種の助成制度について、十分に活用がされていない状況が見受けられることから、PRなどの充実強化を図るよう取り組まれた。

また、アイヌ民族をテーマにした映画「シサム」は、アイヌ民族の歴史資料ともなり、本町アイヌ文化の保存・伝承や内外へのPR、教育分野などを含めた各種方面に十分活かされるよう、今後の取り組みに期待を寄せるものである。

以上を審査の所見として、本特別委員会は、認定第1号から第4号までの令和6年度白糠町一般会計、各特別会計の決算認定並びに議案第62号から第64号までの令和6年度各公営企業会計の決算認定および剰余金の処分について、「認定並びに可決すべきである」と決した旨、報告する。

なお、併せて行った「白糠町創生総合戦略」の検証における各委員の意見・提言が、後年度のまちづくりに活かされるよう、願うものであることを申し添え、令和6年度白糠町各会計決算審査特別委員会の講評とする。

スポーツ競技に触れている一文があるものの、文科系部活動には触れていない。スポーツ活動が目立っているが、文化系で活動したい児童生徒、その保護者も多数いる。

情操教育のためにいろいろな支援の方を配置しているなかで、このような報告書では不十分である。教育委員会全体で現況を把握し対応を望む。

**答** 部活動の地域移行については、文科省も地域展開という形で協議検討を進めており、白糠町としてもスポーツだけでなく文科系部活動についても、併せて検討している。報告書については改善したい。

**問** 庶路学園ののり面工事について、最近の雨の影響なのか、何度も崩れているが、地域住民が安心できるように施工してもらいたい。

**答** のり面自体が崩れているのではなく、表面が浸食されている状況であるが、安心してもらえよう、年内をめどに施工を完了する。

**問** 青少年海外研修事業について、子どもたちの意見発表があつて、これは相当彼らの将来に向けて効果ある取り組みであつたと考ええる。

自分たちの体験を前向きにアピール、伝える力は素晴らしいものなので、今後も継続されることを希望するが、

## 学校給食センター

**問** 白糠高校で給食が無償提供されるようになり、生徒の健康状態が改善されたと学校医から聞いた。

現在、牛乳が提供されていないが、高校から要望があれば無償提供してもらえるか。

**答** これまで要望がなかったが、要望があれば、協議の上、取り進めたい。

## 社会教育課

**問** 文化財の保護という観点から、博物館建設の考えはないか。

**答** 文化財や郷土資料は大切なものであるが、博物館の建設となるとハードルが高いことから、展示方法について、検討を進めている。

# 問い合わせ 提案する

## 一般質問

※議員6人が14件18項目について質問しました。  
 ※一般質問は1人90分以内で、町長・教育長に対して広く町政に関する説明を求めます。

森 武人 議員・・・・・・・・・・・・・・7分

- 1 改正鳥獣保護管理法に伴う自治体の対応について
- 2 刺牛地区避難場所の移設について

石田 正義 議員・・・・・・・・・・・・・・8分

- 1 町民の生活支援について
- 2 ヒグマ対策について
- 3 貸与型奨学金の返済について

川森 静 議員・・・・・・・・・・・・・・9分

- 1 奨学金の返還支援と免除について
- 2 不登校の子どもへの対応について

今田 睦子 議員・・・・・・・・・・・・・・10分

- 1 がん検診について

福地 裕行 議員・・・・・・・・・・・・・・11分

- 1 道の駅について
- 2 地熱発電所について
- 3 宅地造成について
- 4 食品スーパーの誘致について

中河 敏史 議員・・・・・・・・・・・・・・12分

- 1 ヒグマ対策について
- 2 二股地区の集会所などの改修について

※掲載している内容は、質問者自身が要約し、広報広聴調査特別委員会が校正したものです。個人の見解が含まれている場合もあります

※お詫びと訂正  
 議会だよりNo.169号、10ページ2段目16行目に誤りがありました。  
 誤) 2リタンク 正) 20リタンク  
 お詫びして訂正いたします。

**問** 改正鳥獣保護管理法に伴う自治体の対応について

**答** 緊急対応において、は駆除できる体制を整えている

**問** 「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律」により創設した緊急銃猟制度について、実施主体が自治体となり銃の使用条件を緩和して、市街地に出没したクマなどへの発砲を自治体の判断で可能となった。本町では、改正鳥獣法をどう捉え、有事に対応するために、どのように準備しているのか伺う。

**答** これまでの鳥獣保護管理法では、住居が集合している地域などでは、銃器を使用した鳥獣の捕獲を禁じていた



森 武人 議員

が、危険が生じる市街地への出没においては、警察官職務執行法により銃猟を実施してきた経過である。

施行後は、緊急銃猟の条件である「場所・緊急性・方法・安全性の確保」の4条件すべてを満たした場合に限り、市町村長の責任で住居が集合している地域または広場などでの銃猟が可能となったことから、本町では緊急銃猟対応マニュアルの作成やゾーニング管理計画を策定。さらには、猟友会白糠郡支部や警察など関係機関と協議を進め、市街地への出没時の緊急対応においては、駆除できる体制を整えている。

**問** マニュアルや計画は、地元猟友会だけでなく、地域住民にも、共有する必要があると思うが方策を伺う。

**答** 関係機関と調整中であり、確定次第本町のホームページなどで周知する。

**問** 猟友会会員宛に「緊急銃猟制度に係る同意書について」調査があったが、当該事

業の該当者のうち、どの程度の同意があったのか伺う。  
**答** ハンター58名のうち48名が同意。

**問** 緊急銃猟制度の実施について警察は実施主体ではないが、環境省が公表した緊急銃猟ガイドラインでは、「緊急銃猟で対応できない場合などには、警察官職務執行法の適用も排除されない旨を記載」とある。

現場の指揮や安全確保は市町村担当者とされているが、警察の協力体制をどのように考えているのか伺う。  
**答** 万全の協力を頂けるものと考えている。

**問** 刺牛地区避難場所の移設について

**答** 平坦で整備可能な適地を選定し移設の検討をする

**問** 町が災害用備蓄資材を保管するコンテナを設置して、避難場所に指定している「刺牛裏山」は、標高59・3メートル

未舗装の山道で高齢者などは徒歩で上ることは困難であり、普通の乗用車で上ることは無理である。

コンテナの設置場所を、もう一段下の安全に地域住民が避難できる場所に、移動設置することができないか伺う。

**答** 本町の最大津波高は、平成23年度に北海道が22・4メートルと公表していたが、令和3年に16・5メートルとした。提案を踏まえ、平坦で整備可能な適地を選定し、移設の検討をしたいと考える。

**問** 今回地域住民が避難した刺牛裏山の麓の地上高は、13メートル程度で、約150メートル西側にある広場は、地上高26メートル程度である。場所も整備されており十分安心できる高さである。

地権者と協議し、避難場所として使用できるように検討する考えがないか伺う。

**答** 治山関係の整備により、切り土や盛り土が行われた場所であり、自然な地形の場所に整備することが適

地と考える。周辺を調査し、速やかに取り進めたい。

**問** 避難所のコンテナの中には、暖房用の資材や毛布などは備蓄されているが、暑さ対策は全く用意されていない。高台が避難場所として指定されている場所については熱中症対策も必要であるが対応を伺う。

**答** 屋外の避難場所については、熱中症対策を含め、具体的に避難環境の整備を検討する。

**問** 渡島管内森町では、町内の踏切3カ所の遮断機が下りたままになり住民らの避難の妨げになっていた。

刺牛地区の避難場所も、国道から進入して、すぐに踏切があり、石炭岬の避難場所も同様である。今後の課題としてJRとの協議も必要であるが、何か対応策を考えているのか伺う。

**答** 過去の非常時にJRと協議しており、このような災害時には、近くの駅で列車を止めるよう約束がきている。



石田 正義 議員

**問** 町民の生活支援について

**答** 国の動向を注視する

問 物価高はとどまることなく、もう限界を超えている。町民からは何とかしてほしいとの声がある。

答 国や道もいろいろな支援に取り組んできたが、足踏み状態であり、みんな悲鳴を上げている。また数カ月で厳しい寒い季節が来る。厳しい時期に間に合うよう支援を考えるべきではないか。

答 国や道の対応の方向が重要であり、その内容を注視し町としてどうあるべきかを判断していく。

厳しい現状はわが町だけではなく、国や道がこの現状をしつかり受け止め対策をされるよう、国や道への生活支援の要請も視野に入れ進めていく。

**問** ヒグマ対策について

**答** 周知・啓発活動の強化、その他必要な対応を行う

問 ヒグマ対策は喫緊の課題であり、人里に出没した事例など被害は重大である。行政、関係機関との連携など対策が必要ではないか。

答 出沒情報の周知や各種啓発、注意看板設置など、注意喚起している。

今後情報周知を徹底し、猟友会や警察などと連携協力の下、対策を図っていく。

問 白糠にクマを駆除した経験のあるハンターは何人いるのか。クマとシカの駆除は違う。シカは撃つと逃げるが、クマを撃つと飛びかかってくる。クマは猛獣である。専門的に調査したり、研究することが必要なのではないか。

答 シカを駆除したハンターは58人いるが、クマは10人もいない。クマの場合は、ハンターに危険が伴う。

専門性は重要と考え、酪農学園大学で研究されている先生や、北海道立総合研究機構の研究機関など意見交換や情報交換をしながら知識を深め取り進めている。

問 電気牧柵も穴を掘って下から入るなどの事例もあり、専門員制度なり町がそのような人に委託するなど検討してはどうか。

答 クマが増えてきているのも現実。これを防ぐのは我々にはできない。できる事は、住民の命を守るために駆除すること。

抜本的対策は徹底した駆除をできるような体制を整えてほしい。自衛隊でも法律を改正してやってくれるのが一番いい。そういう提案を出して国に届くよう全道上げて声を出してみんなでヒグマ対策をしていかなければならない。

**問** 貸与型奨学金の返済免除について

**答** 来年度からの実施に向けて検討を進めている

問 奨学金を借り勉学に励んでいる学生が多くいるが、返済に大変苦労している若者も多いと聞く。白糠町内に就職すると返済を免除するなどの考えがあっても良いのではないか。

答 大学卒業後町内にUターンするなど一定条件を満たす方に対して貸与分の返還を免除するという方向で検討を進めている。

問 一定条件とは何を指しているのか。町内に就職しても1〜2年でよそへ行ってしまっただけでは意味がない。5年以上など設定しては。

答 来年度に向け検討中で、決定事項ではないが、Uターン後町内に居住すること、一定期間定住し、町内に就職していただくこと、年数の設定は、管内の状況を調べると戻ってきて5年を約束してというところや、5年を確認してから免除するというところもあり、来年度に向けそれらも含め検討していく考えである。



川森 静 議員

**問** 奨学金の返還支援と免除制度の検討は進んでいるか

**答** 来年度からの実施に向けて準備を進めている

問 令和6年第4回定例会において質問した奨学金の返還支援と免除について、先進事例などを参考に検討するとの答弁があったが、その後の具体的な取り組みについて伺う。

答 奨学金の返還支援や免除制度の先進事例については、釧路管内のほか、道内自治体で実施されている返還支援や免除制度の内容について調査を実施し、情報収集に努めた結果、本町においても来年度から一定条件を満たす方に対して返還免除制度の実施に向けて準備を進めている。

問 一定条件を満たす方に対して本町からの貸与分の返還免除制度の実施を検討されているようだが、本年度以前に奨学金の貸与を受けた

方や返還期間内の方に対しては、この制度の対象者となるのか、またその検討はしたのか伺う。

答 本年度以前の奨学金の貸与を受けた方に対しても支援の検討を進めていく。

また、奨学金の金額についても物価高騰やさまざまな状況を鑑みて増額の検討を進めていく。

問 民間の奨学金制度を利用した方の返還の支援を考えたはあるか伺う。

答 各地の先進事例などを参考に検討した中、現時点では民間の奨学金制度を利用した方の返還支援については、支援をする考えはない。

**問** 不登校の子どもへの対応について

**答** さまざまな支援に取り組んでいる

問 学校において、不登校の実態を把握した上で、現在の取り組みとその結果不登校の数の推移を伺う。

答 本町における令和4年度から6年度までの不登校率

は、小学校では1・3%から1・4%と横ばい、中学校では10・6%から6・1%へと改善が見られ、町全体では減少傾向にあるといえる。

取り組みについては、全ての学校にスクールカウンセラーを配置し、教育委員会にも相談窓口を設けるほか、校長室や保健室などを活用した「校内教育支援センター」を設置し、校内での児童生徒の居場所を確保している。

なお、登校が難しい児童生徒に対してはICTを活用したりモーター授業やドリル学習の提供など、学びの継続を保証している。

また、短時間登校や支援員の付き添いによる教室への段階的な登校支援、地域資源を活用した探究活動など、さまざまな取り組みを行っている。

問 登校が難しい不登校児童生徒にとって、学校内での活動やサポートなどは、ハードルが高すぎると感じるが、本町において釧路市で来年度の新設を計画している「学びの多様化学校（くしろ創明学

園）や十勝管内清水町の学校以外の団体と教育委員会が連携で行う不登校支援活動を参考に、不登校のケアについて新たな施策は考えられるか伺う。

答 本町においては、放課後学習サポート事業を行い、放課後を利用し児童生徒にとって身近な学びの場を提供しており、また、ICTを活用し、不登校児童生徒にとって、家庭において参加しやすい環境を整備するなど、さまざまな取り組みによって、不登校児童生徒も減少傾向にあることから、具体的に新たな計画はない。

今後は、既存の取り組みをさらに検証しつつ、ICT活用の拡充、校内教育支援センターの機能強化、地域人材との連携を進める中、不登校傾向の児童生徒の早期発見と効果的な支援につなげていくとともに、釧路市の新設校や清水町の教育支援センターの事例も注視しつつ、本町の実情に即した支援体制を継続していく。



今田 睦子 議員

### 問 がん検診について

**答** 国の動向を見ながら尿検査の活用は判断したい

**問** 白糠町では「特定検診・がん検診の普及啓発キャンペーン」として受診率100%を目指しているが、現状の受診率と、併せて専門医のいない白糠町で安心して早期に発見できるように尿採取でがんリスクを発見できる検査キットを使用できる対策を行えないか伺う。

**答** がん検診については、がんを早期に見出し、治療につなげることで死亡率を低下させるために行う検査で、国の指針により胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がんの5種類のがん検診が推奨されており、それぞれの検査方法や対象者などについても定められている。

各健診の令和6年度の受診率は、特定検診が24・6%、胃がん検診が6・4%、肺がん検診が5・4%、大腸がん検診が6・0%、乳がん検診が10・3%、子宮がん検診が7・1%となっている。本町の受診率は、全道および管内の平均を下回る状況であることから、その要因の一つと考えられる健康意識の向上を図るため、町広報などによる周知や個別の受診勧奨を行っている。また、本町の死亡原因については、がんの割合が全道と比べ特に高い状況にあることから、本年度より全身のがんを一度に調べることでできるPET-CT検査に対する助成事業を実施している。

次に、現在市販されている尿採取などの検査キットについては、手軽にがんリスクの検査が可能であることは認識しているが、現段階では医療機器としての薬事承認を受けておらず、民間の健康サービスの位置付けであることから、今後の国の動向などを見極めながら、活用について判断したい。

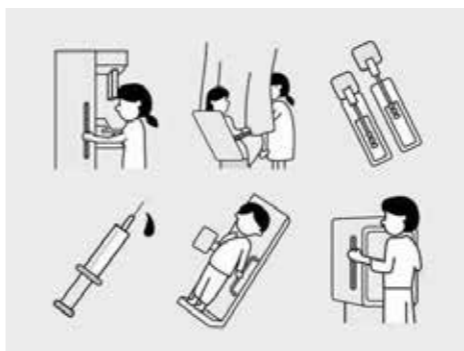
**問** PET-CT検査にどのくらいの助成が行われ、本年度

は何人の受診者で、早期にがんを発見された方がいるか伺う。

**答** PET-CT検査費用は6万円程度で、その半分を助成し、自己負担は3万円。定員40人にはすでに達しており、そのうち受診済みは35人で、結果が判明している方は30人。そのうち8人が要精密検査となり、その中で1人ががんと判明した。

**問** PET-CT検査や尿採取の検査キットなど、検査にかかる経済的な負担もあり、受診できない町民の方の中にはいるのではないかと。受診者の交通費などを助成する考えはないか伺う。

**答** 現在、検査の体制については、町内で受診できる日にちが決まっている集団検診と、仕事をされている方は個別で受診できるよう各機関、医療機関やがん検診センターなどで受診できる体制がある。また、女性の乳がん、子宮がん検診などについては、バス送迎付きの検診日もあり、



交通費について心配な方は利用していただいている。現段階では、交通費の助成という考えはなく、特にそういう希望も聞いていない。

※PET-CT検査とは、PET（陽電子放出断層撮影）とCT（コンピュータ断層撮影）を組み合わせた高度な画像診断技術で、がんの診断や治療効果の評価、心臓病や脳疾患の診断など、より詳細で正確な画像を得ることができ、特にがんの早期発見や再発の検出に非常に有用。



福地 裕行 議員

### 問 恋問館、より一層の差別化を

**答** 1年間の状況を診てから

**問** 観光のオフシーズンになると入込客数は当然大幅減少し、売上高は勿論客単価も下がり、都合の良い中継地に墮す懸念がある。

**答** 水産のまちを象徴する鮮魚販売やその水槽を設置し、より差別化を図るべきである。

**問** 漁協の商品は、委託販売方式のため鮮魚と水槽は難しい。まずは一年間の状況を把握し、協議・検討する。

**問** 莫大な事業費をかけた以上絶大な波及効果が必要。移転の構想段階から累次、食での差別化も具申してきたが、この4カ月以上の繁盛は望めない。食の観光拠点としての発信力を高め、インバウンドを増やすことも求める。

**問** 町おこしエネルギー社が、国道38号から60キロ程の阿

### 問 第1・四半期の経営状況

**答** 想定以上である

**問** 第1・四半期の経営状況は。8月末時点↓年間目標額3億2千万円に対し2億5千2百万円。来館者数は年間目標75万人に対し47万人。

**問** 地の利の良くない厚岸コンキリエでも30万人強で6億千5百万円である。今の品揃えや単価では到底目標額を超え続けられない。食の観光拠点と明確に位置付けてのPRが大事。

### 問 地熱発電所のその後

**答** 引き続き検討の意向

**問** 町おこしエネルギー社が、国道38号から60キロ程の阿

寒富士の麓で試みたが不調に終わり、その当該地から西北西の地点で再度掘削するとのことだったが、進捗は。

**答** 地理的要因などにより事業費が約百億円かかるので、本年5月、国に補助金の申請をしたが不採択となった。引き続き検討の意向である。

**問** 計画は頓挫するであろう。白糠インター付近や上庶路では確実に温泉は噴出すると思われる。

**答** 産業振興などを勘案し、低温で発電可能なバイナリー発電所について沼田社長とも相談しながら事業展開を図れないか。

### 問 どんどん増える空き家空地

**答** 思い切った施策を講じる

**問** 町有地を無償譲渡してきたが、無償化は税金化である。今日莫大な税金を投入して民有地を取得、造成中だが、政策の貧困で的確な施策を

打ち出せないことにより、極端な人口減少や高齢化で空き家・空き地は増加の一途。負のスパイラルで民業圧迫も座視できない。

**答** 空き家バンク制度によりマッチングが成立しているほか、中古住宅修復への補助制度も創設し、全体的な住環境整備を目指している。さらなる移住・定住政策を推進する。

**問** 棚野町政になって45%もの人口減だが、人口の争奪戦は論外。何より若年層の望む雇用の場確保が第一。

**答** 仕事はあるが魅力を感じない。新築住宅への補助拡充などの施策を思い切って進めたい。

### 問 宅地造成を断念した

**答** 代金は返還される

**問** 旧明治林業跡地を3千3百万円で購入するも法的課題が惹起し、開発を断念した。議決した議会にも当然大きな責任はあるが、造成実施

### 問 年内には結論が出る

**答** ひとえに町民の利便性を考慮すると必要であり、巷間期待も高まっている。

**問** 民間企業と継続協議中であるが、具体的な内容を立案し検討を進めているとのこと。いまだ少し待ってほしい。

**答** 個店での黒字化はあり得ないが、相応の補助も必要ではないか。



中河 敏史 議員

問 ヒグマ対策が急務

答 める 法律に基づいて進

問 全国的にもクマの被害が増え、大きく報じられている。北海道では作物の被害だけではなく、痛ましい人への被害が起きている。白糠も例外ではなく同様な被害が起きてもおかしくない状況にあり、対策が急がれるが。

答 本年は全国においてもクマによる人身事故が多発しており、過去最多であった令和5年度と同じか、それ以上のペースで推移している。その中でも市街地での目撃が相次いでおり、本町でも市街地へのクマ出没と人への被害を心配している。市街地のクマの対応、農作物や人身被害を防ぐ有害捕獲については、猟友会白糠郡支部や警察などの関係機関と連携を図りながら、法律に基づいた緊急銃猟や有害捕獲の実施を進めていく。

問 クマの個体管理を行うには

捕獲するしかない。現在箱ワナは、季節限定の許可で行っているが、通年で行えないか。

答 現在、農林業被害対策で設置している。オリの場合、クマをおびき寄せる恐れがあるので関係機関と協議をしたい。また、銃器については通年の許可を出している。

問 銃器による有害捕獲には厳しい制限があり、見直しが必要である。箱ワナについて効率よく捕獲するために、ワナの近くに赤外線カメラなどを設置し、クマの行動を把握したり、捕獲数の多い自治体に研修に行ったりするなどの対策が必要ではないか。

答 地域と協議し方向性を検討したい

問 二股地区の集会所などの改修が必要

問 二股地区の集会所と旧白糠町公民館二股分館の老朽化が進んでいる。集会所は雨漏りがあり、旧分館に至ってはさらに損傷がひどく、中に収納されている展示物への影響も考えられることから、早期の改修が必要ではないか。

答 (町長の答弁) 北進集会所は、昭和55年に「北進へき地保育園」として建設し、平成7年の閉園後は、内部改修などを行い、「北進集会所」として使用している。平成25年には隣接する「北進寿の家」(昭和60年建設)を、北進集会所の分室として用途変更しており、現在、地域では利用人数の減少により当該分室を使用している。北進集会所は、建設から今年で45年が経過することから老朽化が進んでおり、雨漏りなどが生じた場合には、都度応急的な修繕で対応している。今後、教育委員会の考え方も踏まえ、総合的に二股地区の簡易郵便局などを含めた施設の在り方について、地域と協議しながら、方向性を検討していく。

答 (教育長の答弁) 旧白糠町公民館二股分館は昭和48年に建設し、地域集会施設として使用してきた。平成7年の北進集会所設置に伴い、地域での会議や集会などの利用がなくなったことに加え、平成9年に地域の要望を受けて施設の主要部分を郷土資料の保管および展示を行う郷土資料室とした。その後、行財政改革に伴う事務事業の見直しにより、平成15年4月1日付けで「公民館二股分館」から「郷土資料保管倉庫」に用途変更した。

旧白糠町公民館二股分館に収納している展示物などについては、旧河原小中学校に一時保管の上、貴重な郷土資料の整理を進める考えであり、今後に向けた資料展示の在り方についても検討を進めていく。施設の改修については町の部局と連携し、地域と協議の上、方向性を検討していく。

財産の取得

土地

移住定住の促進を図るため、西庶路の民有地30,378㎡を定住宅地として取得した。

質疑・答弁

問 土地購入金額の算定根拠はどうなっているか。

答 西庶路地区近隣であった、本件類似の公共事業の売買実例を参考とした。

問 宅地整備に係る規模と期間は。

答 1区画100坪を目安に40区画整備し、令和8年度中の公募を予定している。

工事請負契約

締結

●新工業団地造成工事

- ・契約の方法 指名競争入札
- ・契約金額 13億2,679万4千円
- ・契約相手 山根・大前技建経常建設共同体
- ・工事場所 白糠町大楽毛34番地3
- ・工期 令和7年7月19日から令和9年2月12日まで

質疑・答弁

問 指名競争入札で行われた理由は。

答 令和6年9月定例会において一般競争入札について質問を受け、指名委員会にて協議したが、一般競争入札の場合は、基本的に金額の多寡のみで落札者が決まるため、施工能力に信頼のおける業者をあらかじめ選定できる、指名競争入札のほうが、良い仕事をしてもらえるので、指名委員会としては、過去の実績などを勘案し、業者選定の上、指名競争入札を行うこととした。

問 分離発注は検討しなかったのか。

答 今回の事業内容は、一体的に1社において施工することが有利であるため、分離発注は行わないこととした。

第3回臨時会

- ・専決処分の承認 (条例改正・令和7年度補正予算)
- ・財産の取得 (土地)
- ・令和7年度補正予算
- ・工事請負契約の締結

7月17日

条例(専決)

一部改正

●白糠町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

先に告示をされた参議院選挙における、投票管理者などの報酬額を引き上げるため、関連する条例の一部を改正した。

7年度補正予算(専決)

一般会計補正予算

補正合計 22万2千円  
総額 332億3,288万1千円

▲増額  
参議院議員選挙人件費 222,000円

7年度補正予算

一般会計補正予算

補正合計 1億1,745万3千円  
総額 333億5,033万4千円

▲増額  
定住宅地造成関連 85,420,000円  
物価高騰対応重点支援給付金関連 32,033,000円

## 人 事

### 教育委員会教育長の任命 につき同意を求めること

本年12月2日に任期を迎える教育委員会教育長について、平成31年4月から教育委員会教育長に就任され、教育に関して深い理解と熱い情熱を持ち、人格および識見ともに優れた川島真澄氏の再任に同意しました。

### 固定資産評価委員会委員 の選任につき 同意を求めること

本年9月30日に任期を迎える固定資産評価委員会委員について、平成28年度以来、同委員会委員に選任され、司法書士として土地、家屋の状況や、地方行政、さらには課税制度等に深い見識を持っておられる後藤毅俊氏の再任に同意しました。

## 協 議

### 規約の変更

- 北海道市町村総合事務組合規約
  - 北海道市町村職員退職手当組合規約
  - 北海道町村議会公務災害補償等組合規約
- 3組合を組織する構成団体である「江差町・上ノ国町学校給食組合」が、本年3月31日付けで解散したことから、脱退に伴う組合規約の変更の協議について、法の定めにより議会の議決を求められ、提案どおり議決しました。

## 工事請負契約

### 締結

- 町道橋梁補修工事（恋問2号橋）
  - ・契約の方法 指名競争入札
  - ・契約金額 8,910万円
  - ・契約相手 山田水道機工株式会社
  - ・工事場所 白糠町庶路甲区6番地303
  - ・工期 令和7年9月20日から令和8年3月23日まで

### 一部変更

- その他林道熊野沢線災害復旧工事
  - のり面緑化について、当初、張芝工により取り進めることとしていたが、工事の施工にあたり、土壌硬度試験およびPH試験を実施したところ、張芝工では、安定した法面緑化が見込めないことから、より耐浸食性効果が見込める植生マット工へ変更することに伴い、契約金額を変更するもの。
    - ・契約の方法 指名競争入札
    - ・契約金額 変更前 5,336万1千円  
変更後 5,881万7千円
    - ・契約相手 株式会社大前技建工業
    - ・工事場所 白糠町茶路170番地1
    - ・工期 令和7年3月31日から同年10月27日まで

## 意見書

- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書
  - 可決した意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係大臣、衆参両議院議長に提出しました。
  - なお、意見書は、白糠町HPに掲載しています。

## 条 例

### 一部改正

- 白糠町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例
  - 公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙運動の公費負担の限度額が引き上げられたことから、本町においても同様の改正を行う。
- 白糠町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例
  - 地方公共団体情報システムの標準化に伴い、一元的に住登外者の登録管理を行う、事務および情報連携について、いわゆるマイナンバーの独自利用を規定する必要があることから、所要の改正を行う。

### 質疑・答弁

- 問「住登外者」という表記は適切か。
- 答国から指定されている「住登外者宛名番号管理機能」に準拠した表記としている。
- 白糠町職員の勤務時間、休暇等に関する条例
  - 白糠町職員の育児休業等に関する条例
    - 地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正に伴い、職員が仕事と育児を両立できるよう、部分休業制度の拡充など、国家公務員と同様の措置を講じるため所要の改正を行う。
  - 白糠町定住宅地の無償譲渡に関する条例
    - 本条例は、本町における人口減少対策の一環として移住・定住を促進するため、町有地を定住宅地として無償譲渡することについて定めたもので、今般の改正は、定住宅地として無償譲渡を定める土地に新たな団地を追加するもの。

### 質疑・答弁

- 問それぞれの団地の区画数、譲渡数、建築数。また、町内町外それぞれの世帯数は。
- 答下庶路団地は8区画で7区画譲渡済み。  
茶路川沿団地は2区画で2区画譲渡済み。  
西庶路栄団地は1区画で1区画譲渡済み。  
西庶路旭団地は11区画で11区画譲渡済み。  
辰辺川沿団地は9区画で9区画譲渡済み。  
西庶路団地は4区画で1区画譲渡済み。  
合計35区画で31区画が譲渡済みで、譲渡した区画にはすべて住宅などが建築済みである。  
町内27世帯、町外19世帯、計46世帯。

# 第3回 定例会

- 9月16日
- ・一般質問
  - ・令和6年度の決算審査を特別委員会に付託
  - ・令和7年度補正予算
- 9月17日
- ・条例改正
  - ・工事請負契約の締結
  - ・工事請負契約の一部変更
  - ・規約の変更に関する協議
  - ・教育委員会教育長任命の同意
  - ・固定資産評価審査委員選任の同意
- 9月19日
- ・令和6年度決算審査特別委員会審査報告
  - ・意見書の提出

## 7年度補正予算

### 一般会計補正予算

補正合計 7,507万4千円  
総額 334億2,540万8千円

#### ▲増額

林業振興施設帯鋸目立機械整備事業補助金	19,270,000円
商工業持続化等支援事業補助金	50,000,000円
白糠駒踊り保存会補助金	696,000円
バドミントン教室開催事業	700,000円
その他	4,408,000円

## 決算審査特別委員会

令和6年度一般会計、各特別会計および各公営企業会計の決算審査のため、議長と議会選出監査委員を除く全議員により「令和6年度白糠町各会計決算審査特別委員会」を設置しました。  
決算審査内容は、2号から5号に掲載しています。

### 議会へ傍聴に来てみませんか。

町民皆さんの議会です。  
定例会開会前に役場1階ロビーで会議日程および一般質問の概要を掲示しております。  
町のホームページにも議会情報を掲載しております。  
<https://www.town.shiranuka.lg.jp/>



### 傍聴者へのお願い

- 1 携帯電話、スマートフォンは電源をお切りください。
- 2 開議中、飲食（健康管理を目的とした水分補給は除く）・喫煙はできません。
- 3 カメラ・録音機器の持ち込みはできません。
- 4 おしゃべりや議事の妨害、他人へ迷惑をかけないようにしてください。
- 5 帽子やコートなどは着用しないでください。



## 今号の表紙

9月27日に開校から第3回目の白糠学園文化祭が開催されました。

今回は、中等部と高等部の子どもたちが、練習の成果を伸び伸びと披露していました。今年から初等部も観覧に加わり、お兄さんお姉さんの演技やダンスを、笑顔で見つめていました。



## あとがき

先月、町内会で防災研修会を行い、東山公園まで防災バックを背負いながら避難訓練も実施。ベニヤ板ベッドの組み立てやスマホ教室も開催。終了後の感想は、思ったより早く避難できる。ベッドに数人、座れて安心。車いすを押す人は楽に押せるなど、実際に避難したことで新しく発見できました。秋は健康まつり、交通安全大会など研修会が目白押し、参加して新しい発見をしてはいかがでしょうか。議会も町民と議会の懇談会などで寄せられた意見を参考に改善を行ったり、議会広報研修会に参加してデジタル社会の中、「読者に読まれる議会広報」を目指しています。すべての人に「伝わる」よう、「見える化」を進めるため、皆様のご意見もよろしくお願いします。  
(池村美博)



## 北海道町村議会 議長会表彰



北海道町村議会議長会から富田忠行議長が表彰されました。町村議会議長として7年以上、同議員として25年以上在籍し、功労のあった議員を表彰するもので、富田議長は全国町村議会議長会に続いての表彰となりました。